

第77号議案

平成30年度長崎市一般会計補正予算(第2号)

目次	ページ
《8款 土木費 3項 河川海岸費》	
1目 河川総務費	
〔歳出の補正〕	
洪水ハザードマップ作成費 1 ~ 6
《11款 災害復旧費 2項 公共土木施設災害復旧費》	
1目 道路橋りょう河川等災害復旧費	
〔歳出及び繰越明許費の補正〕	
【補助】道路災害復旧費 7 ~ 15
〔歳出の補正〕	
【単独】道路災害復旧費 16

中央総合事務所
東総合事務所
南総合事務所
北総合事務所

平成30年9月

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
28～29	8 土木費	3 河川海岸費	1 河川総務費	1-1	洪水ハザードマップ作成費	千円 10,000

1 概 要

近年、これまでの想定を超えて、全国各地で水害が頻発、激甚化し、逃げ遅れによる死者や経済損失が発生する事態となっており、その対策を講じるため、国においては、平成27年と平成29年の2回にわたり、水防法の一部を改正した。

この改正により、洪水の浸水想定区域について「河川整備において基本となる降雨」から、「想定し得る最大規模の降雨」による区域への拡大がなされるとともに、ハザードマップによる避難経路等の住民への周知、要配慮者利用施設（社会福祉施設、医療施設など）利用者の避難確保計画作成の義務化がなされた。

これを受け、長崎県により、想定し得る最大規模の降雨を前提とした中島川の洪水浸水想定区域の指定がなされたことから、社会資本整備総合交付金を活用し、平成20年3月に作成した中島川洪水ハザードマップの改定を行うことにより、避難場所及び避難経路等を住民に周知し、円滑な避難及び被害の軽減を図るもの。

【中島川における降雨規模の想定】

従 来	河川整備基本降雨（1/100年：長崎大水害規模）	448 mm/24 時間
改正後	想定最大規模（1/60,000年）	1,085 mm/24 時間

2 事業内容

中島川洪水ハザードマップ作成業務委託 一式

- ・ハザードマップデータ作成等（住民説明会資料作成、浸水想定区域、浸水深、浸水継続時間、避難経路、避難場所、多言語表示等の記載）
- ・ホームページ掲載データ作成
- ・ハザードマップ印刷 10,000部

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
10,000	5,000	—	—	—	5,000

※ 国庫補助率 対象事業費（10,000千円）の50%

●中島川ハザードマップの改定スケジュール

区分	平成30年8月	9月	10月	11月	12月	平成31年1月	2月	3月
長崎県		●浸水想定区域指定						
長崎市		●9月議会補正予算			●中島川洪水ハザードマップ作成業務委託			
				●対象区域(3地区) 住民説明会 (概要)				
					●対象区域(3地区) 住民説明会 (避難所・避難ルート)			
						●対象区域(3地区) 住民説明会 (ハザードマップ素案)		
							●ハザード マップ策定	
							●ハザード マップ周知	
						●地域防災計画に要配慮者 利用施設を記載		

●洪水ハザードマップについて

水防法

●長崎県(第14条第1項)
河川が氾濫した場合等に浸水が想定される区域を洪水浸水想定区域等として指定



●長崎市(第15条第1項、第2項)
地域防災計画に、利用者の円滑かつ迅速な避難の確保を図る必要がある浸水想定区域内の要配慮者利用施設※を記載



●長崎市(第15条第3項)
地域防災計画で定められた事項について記載した洪水ハザードマップを作成し、周知を図るために印刷物の配布等を行わなければならない

※要配慮者利用施設:社会福祉施設、医療施設、その他に防災上配慮を要するものが利用する施設

水防法の改正による洪水ハザードマップの変更点

H27

多発する浸水被害に対処するため、洪水浸水想定区域の考え方が、河川整備において基本となる降雨から、想定し得る最大規模の降雨及び河川整備において基本となる降雨を前提とした区域に拡充



洪水浸水想定区域が変わるため、洪水ハザードマップの改定が必要

H29

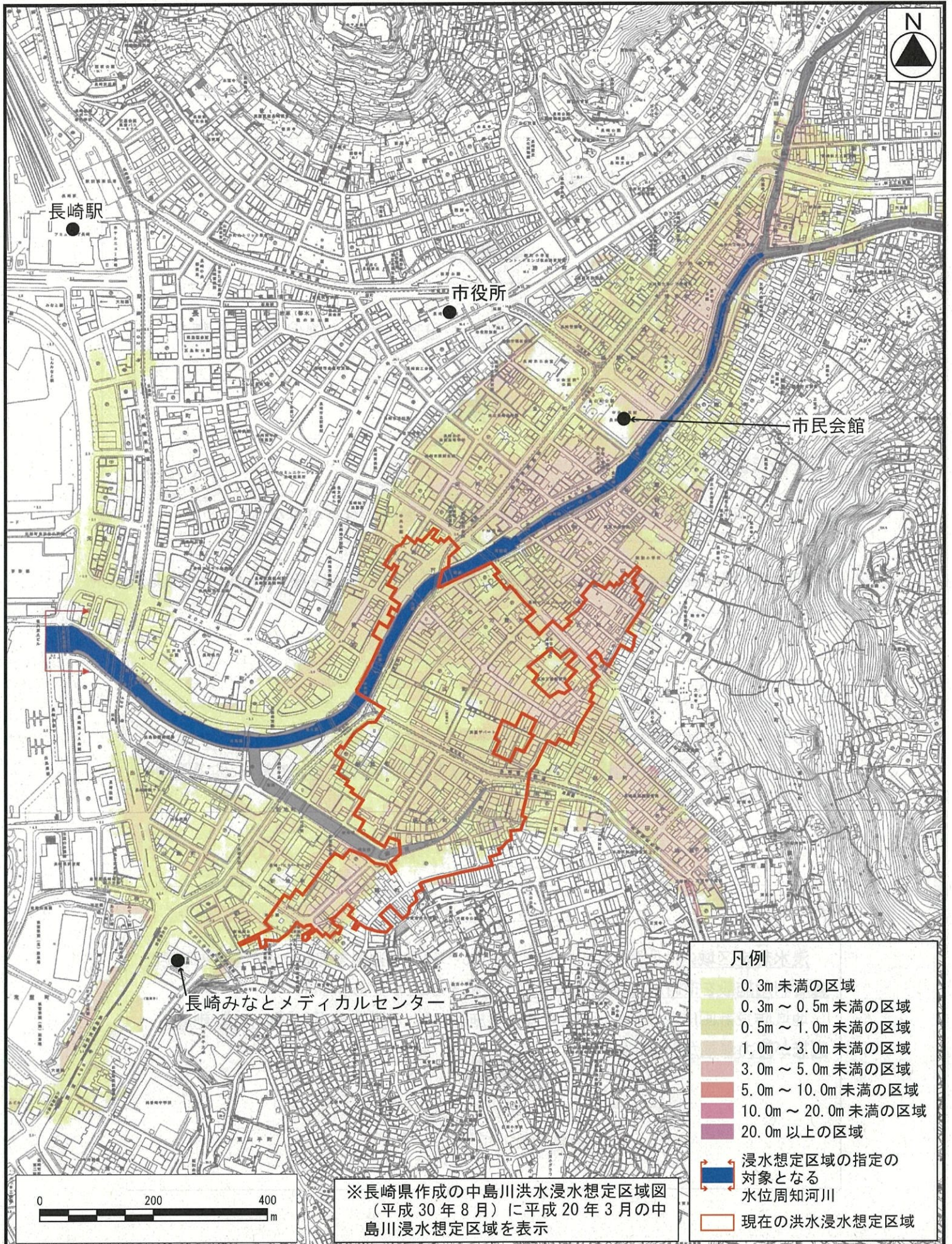
浸水想定区域内に位置し、洪水時等に円滑かつ迅速に避難を実施する必要がある要配慮者利用施設を市町村の地域防災計画に記載することが定められる。

地域防災計画に定められた要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・訓練の実施が努力義務から義務化される。



洪水ハザードマップに地域防災計画に記載された要配慮者施設について表示が必要

中島川水系中島川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



中島川 洪水情報マップ

この図に示す浸水区域は、現在の中島川で、過去に甚大な被害を及ぼした昭和57年7月長崎大水害の大雨(時間雨量127mm※程度)が降った場合予想される浸水区域を示しています。

ただし、様々な原因により、これより少ない雨で浸水したり、着色のない部分でも浸水する可能性があります。

※昭和57年7月23日長崎海洋気象台での観測値

平成20年3月



0 50 100 200 300
S=1:5,000



もしも大雨が降ったら

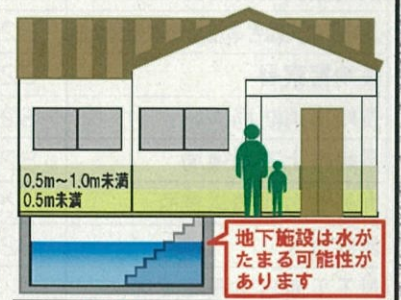
- ・地下室からすぐに避難して下さい。
- ・建物の2階に避難してください。(2階がない場合は、近くの建物へ)

※浸水する深さは最大でも1m程度です。落ち着いて行動しましょう。

地下室の危険性



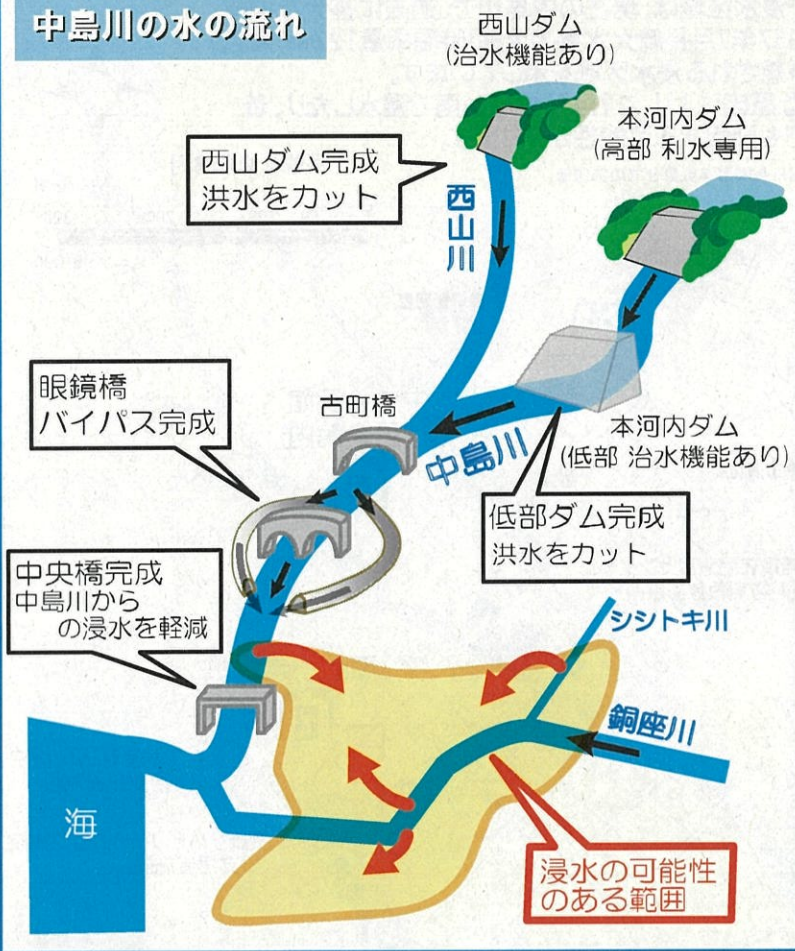
凡例 着色した部分が浸水区域です。



避難所 病院 水位計

※この図面は、平成11年調整の白図を元に編集したものである。

中島川の水の流れ



中島川水位の目安 (古町橋)



避難所一覧



避難場所	住所	電話番号
中央公民館(市民会館内)	魚の町5-1	825-1948
諏訪小学校	諏訪町7-13	822-2870
新興善メモリアル	興善町1-1	829-4930

洪水等の恐れがある場合には、長崎市災害警戒本部が設置されます。**避難所は災害警戒本部が開設します。**

避難の際は、開設されたかどうか本部に問い合わせてください。

TEL 095-822-0480

特に高齢者や小さい子供、身体障害者の方など、体の弱い方がいるご家庭では、浸水のとときにどのように行動するか、よく話合っておきましょう。

浸水への備え

1. テレビ、ラジオ、インターネットなどの気象情報に注意しましょう。
2. 防災行政無線や巡回広報車などの放送に注意しましょう。
3. 河川の水位に注意しましょう。
(古町橋護岸が半分以上隠れると、下流ではん濫の恐れがあります。)
4. 地下室や浸水の恐れがある場所に、機械、電気製品、貴重品などを置かないようにしておきましょう。
5. すぐに避難できる場所(2階以上に上がることができる建物など)を確認しておきましょう。

電話番号等一覧

官公庁等	電話番号	受付内容
長崎市災害警戒本部	822-0480	避難所の開設、災害通報
長崎振興局河川課	844-2181	中島川のはん濫
長崎市中央総合事務所地域整備2課	829-1184	その他の河川、水路のはん濫
長崎警察署	822-0110	事件、事故等
長崎市消防局	822-0119	ケガ、救助等
長崎市上下水道局	822-8888	上下水道の復旧等
九州電力長崎営業所	0120-986405	電気の復旧等
西部ガス	824-0919	ガスの復旧等
NTT西日本長崎支店	113	電話故障受付

近くの救急病院	電話番号
長崎みなとメディカルセンター	822-3251
長崎市夜間急患センター(栄町)	820-8699
長崎エキサイ会病院(榊島町)	824-0610
出島病院(出島町)	822-2323
十善会病院(籠町)	821-1214

長崎県河川砂防情報システム

- ・現在の雨量と水位がわかります。
- ・<http://www.kasen-sabo.pref.nagasaki.jp/>

NAKSS

検索

「中島川洪水情報マップ」に関するお問い合わせ 長崎市中央総合事務所地域整備2課 TEL 095-829-1184

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
34~35	11 災害 復旧費	2 公共土木 施設災害 復旧費	1 道路橋りょう 河川等 災害復旧費	1-1	【補助】道路災害復旧費 現年度災害分	千円 41,000

1 概 要

現在、平成30年7月豪雨により被災した道路の災害復旧工事を実施するため、災害事業費を増額補正するもの。

【参考】

単位:mm

発生日	最大24時間雨量	最大60分雨量
平成30年7月6日	246	46

2 事業内容

被害状況:市内3か所(法面崩壊、路肩崩壊)復旧費用 41,000千円

区分	路線名	場所	災害内容	規模	復旧方法
中央総合事務所	南が丘町星取1号線	田上2丁目	道路法面(石積)崩壊	L=11.0m H=2.5m	ブロック積ほか
北総合事務所	琴海戸根原町琴海戸根町2号線	琴海戸根原町	道路路面・路肩崩壊	L=48.0m H=4.0m	ブロック積ほか
	琴海村松町16号線	琴海村松町	道路路肩崩壊	L=10.0m H=7.0m	ブロック積ほか

3 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源
当初予算額	千円 50,000	千円 33,350	千円 -	千円 16,600	千円 -	千円 50
9月補正	41,000	27,347	-	13,600	-	53
補正後	91,000	60,697	-	30,200	-	103

※1 国庫補助率 2/3

※2 起債充当率 100%(災害復旧事業債)

【繰越明許費】予算説明書 40～41 ページ

11款 災害復旧費 2項 公共土木施設災害復旧費 1目 道路橋りょう河川等災害復旧費

事業名	金額		財源内訳			
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源
【補助】道路災害復旧費 現年度災害分	補正後 予算現額	千円 91,000	千円 60,697	千円 30,200	千円 -	千円 103
	支出予定額	61,000	40,687	20,300	-	13
	繰越明許額	30,000	20,010	9,900	-	90

<繰越明許額30,000千円の内訳>

・琴海戸根原町琴海戸根町2号線災害復旧工事 30,000千円

**【補助】道路災害復旧費
位置図**



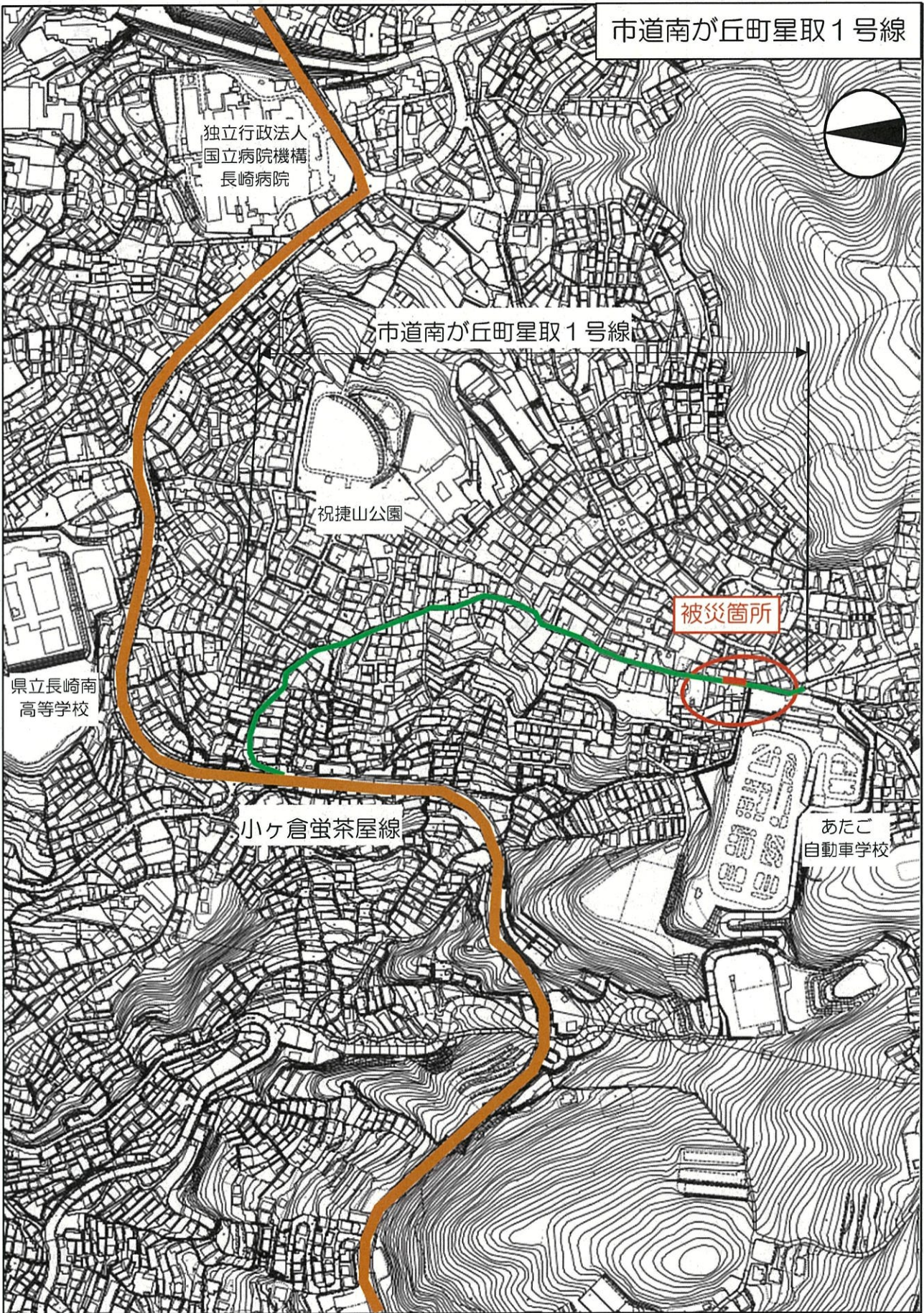
琴海戸根原町琴海戸根町2号線

琴海村松町16号線

南が丘町星取1号線

【凡例】

中央総合事務所	●
東総合事務所	●
南総合事務所	●
北総合事務所	●



市道南が丘町星取1号線



L=11.0m H=2.5m

法面崩壊状況



法面崩壊状況



道路の状況

市道琴海戸根原町琴海戸根町2号線

大村湾

パサーシュ琴海

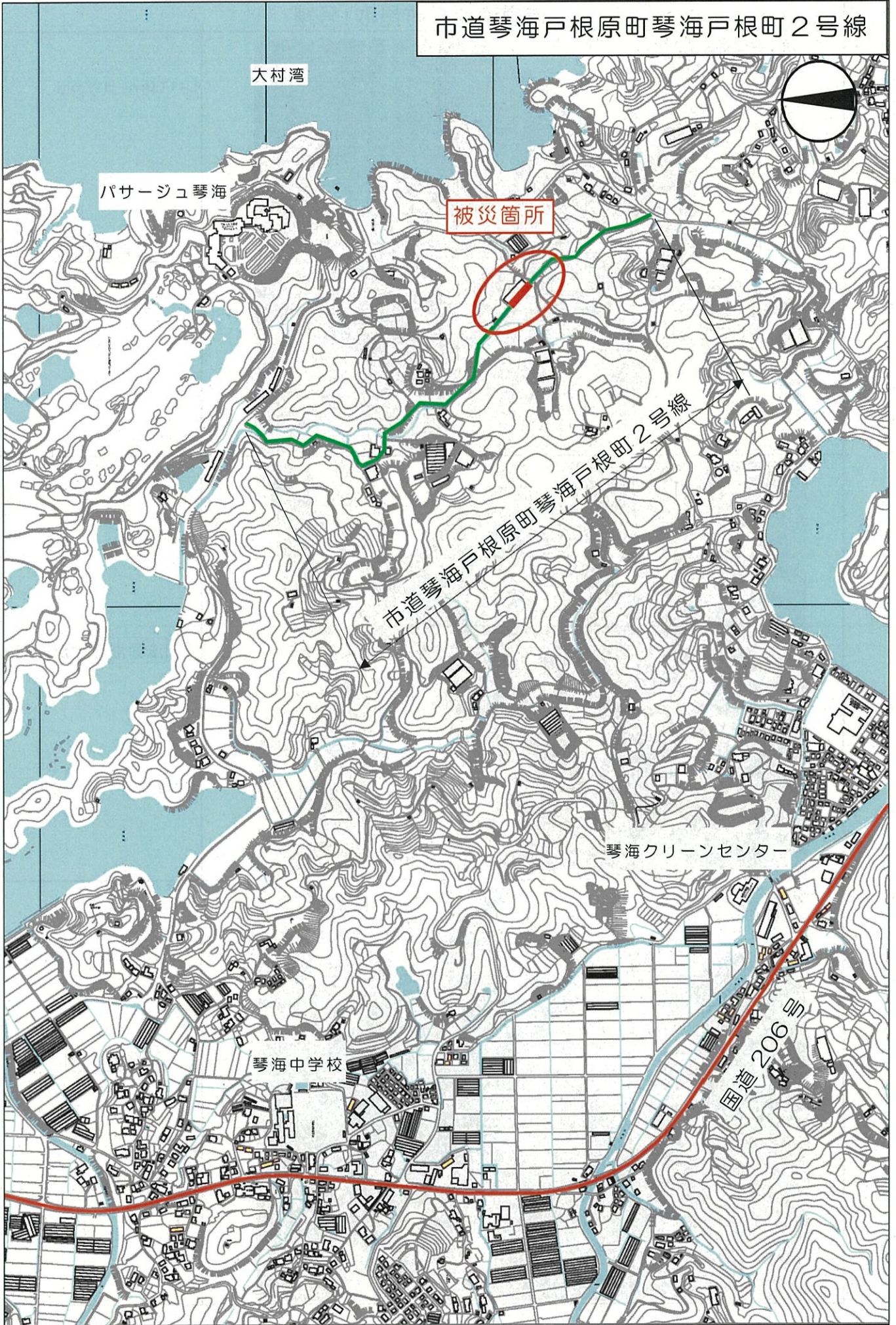
被災箇所

市道琴海戸根原町琴海戸根町2号線

琴海クリーンセンター

琴海中学校

国道206号



市道琴海戸根原町琴海戸根町2号線



L=48.0m H=4.0m

路面・路肩崩壊状況



法面崩壊状況



法面崩壊状況

市道琴海村松町16号線



琴海ニュータウン

大村湾

村松
小学校

国道206号

被災箇所

市道琴海村松町16号線

市道琴海村松町16号線



L=10.0m H=7.0m

路肩崩壊状況



道路の状況



崩壊土の状況

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
34～35	11 災害 復旧費	2 公共土木 施設災害 復旧費	1 道路橋りょう 河川等 災害復旧費	2-1	【単独】道路災害復旧費 現年度災害分	千円 50,000

1 概 要

現在、平成30年7月豪雨により被災した道路の災害復旧工事を実施しており、今後災害が発生した時に緊急に対応する予算を確保するため、災害事業費を増額補正するもの。

【参考】

単位:mm

発生日	最大24時間雨量	最大60分雨量
平成30年7月3日	190	27
平成30年7月6日	246	46

2 事業内容

被害状況:市内95か所(路面崩壊、法面崩壊等)復旧費用 50,000千円

《箇所数》

区分	修繕	委託 (倒木など)	合計
中央総合事務所	5	7	12
東総合事務所	9	6	15
南総合事務所	8	8	16
北総合事務所	47	5	52
合計	69	26	95

3 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
当初予算額	50,000	—	—	50,000	—	—
9月補正	50,000	—	—	50,000	—	—
補正後	100,000	—	—	100,000	—	—

※ 起債充当率 100%(災害復旧事業債)